

家族に「安全運転します」

卒検合格 感謝の手紙



ありがたいの気持ちと、安全運転の決意を手紙に。大垣自動車学校(大垣市荒川町)と大垣南自動車学校(養老町祖父江)では、5年以上前から、全卒業生が保護者や家族に宛て、合格を伝える自筆の手紙をしたためている。受け取った保護者らからも好評で、両学校の職員は「顧客満足度アップにつながれば」と期待を込めている。

(松尾法尋)

全生徒が自筆で送る

両学校では毎年計1400人ほどが入校。就職や進学を控え入校が集中する12月～3月には、半数近くの生徒が卒業を迎える。

生徒は授業料や学校への送り迎えなどで保護者らから支援を受ける場合が多く、両学校は運転技術だけでなく、思いやりの心も育んでもらおうと、手紙の執筆を勧める。卒業検定に

自筆の手紙と初心者マークを掲げる卒業検定の合格者。大垣市荒川町、大垣自動車学校

合格した生徒はカードに感謝と誓いの言葉を書き、学校がまとめて郵送する。

SNS全盛の中、封筒の宛名の書き方を職員が教えることもしばしば。外国人の生徒も、母国語で手紙を書いている。手紙を書き終えた神戸町の篠島彩叶さん(18)は、「ふだん伝えられない思いを手書きの文字で伝えられたら」と笑顔で話していた。

受け取った保護者らからも「ありがたい心遣い」との声が届いており、両学校の運営元の岡田正常務は「生徒や周囲の人に喜んで

大垣、大垣南自動車学校

もらえることは、指導員や職員にとってやりがいになる。今後も続けていきたい」と力を込めた。